

食農教育

平成十八年度農業体験学習「秋」

北郷小・緑ヶ丘小編

十月八日から十一日にかけて三泊四日、東京都目黒区立緑ヶ丘小学校の五年生四十名が角田市の北郷地区を訪れ、角田市立北郷小学校の五年生二十七名と一緒に稲刈り体験を行いました。

近年この稲刈り体験は天気に恵まれない年が続きました。今年は抜けるような青空の下、爽やかな秋風にふかれながら稲刈りができました。

春に自分たちが田植えをした三十アールの田んぼでは、稲が黄金色の稲穂を垂れて子どもたちを待っていました。目印に自分の名札を立てておいたところを手刈りしていきます。初めは慣れない手つきでしたが徐々にスピードアップ。今年はPTAのお母さん方も七名参加し、子どもに負けじと汗を流しました。昼食は北郷のポラントイアたんぼのみなさんが用意してくれたおにぎりとお汁を田んぼでいただきました。働いた後のおにぎりは格別。

昼食後、今度はコンバインに乗りたんぼを一周。格段に進歩した現在の稲刈りも体験しました。「また来年よろしく」との気持ちを含めて藁を田んぼにまんべんなくまき、田んぼとお別れ。

北郷小学校に戻り、あぶくま農学校の修了証書が全員に授与され、半年に



及ぶあぶくま農学校が修了しました。夜の感謝祭では緑ヶ丘小学校の子どもたちがお世話になった北郷のホストファミリーにカレーライスを作って振る舞い、残り少なくなった角田での生活を名残惜しそうに交流を深めました。

西根小・月光原小編

九月二十九日から十月一日にかけて二泊三日で東京都目黒区立月光原小学校の五年生三十二名が角田市の西根地区を訪れ、角田市立西根小学校の全校生徒と一緒に林業体験と稲刈り体験を行いました。

春の登山で山頂から角田を眺めた権現堂の中腹の杉林で林業体験を行いました。杉木立の中は静かでひんやりした空気に包まれ、山の匂いが充満しています。そんなリラククスした雰囲気の中で山の働きと山を手入れし守ることの大切さについて学びました。普段持ちなれないノコギリを手に「枝打ち」作業を体験しました。みんながおいしいさんやおばあさんになる頃にはますます大きく立派な大木になることでしょう。

翌日は西根小学校の全校生徒といっしょに稲刈り体験。春に田植えした十五アールの田んぼには立派に育った稲穂が揺れています。さっそく昨日のノコギリから力マに持ち替えて稲刈り作業。総勢百七十名による作業で田んぼは元気な声であふれていました。土と藁にまみれながら満足の収穫となりました。春に続きホームステイを体験し、最



後は恒例の「米ム舞ム（マイムマイム）」をみんなでダンス。角田の思い出をステップに刻みました。

北郷小学校と西根小学校は、それぞれ六年生が目黒区を訪問しています。五年生とともに角田で農業体験を行った子どもたちが六年生になつて東京都目黒区で再会します。

食と農のつながりの学習をおしえてきた人と人とのつながりを今後大切にし、深めていってほしいものです。